

第5回 小丸川・一ツ瀬川水系 水防災意識社会再構築協議会 開催

小丸川・一ツ瀬川流域等の関係機関が連携・協力し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設立し、ハード・ソフト対策を一体的、計画的に推進しています。第5回となる今回の協議会では、減災に係わる取組方針の実施状況をフォローアップし、関係機関で進められている主な取組内容について共有を図るとともに、避難所における新型コロナウイルス感染症への対応等についても共有を図りました。

開催概要

- 日時：令和2年5月29日（金）
- 場所：木城町役場 3階大集会室
（一部Web会議での参加）

議事内容

- 規約改正
- 「減災に係る取組方針」フォローアップ
- 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について

委員の方の主な発言

- 【宮崎河川国道事務所長】本会議はH27年関東東北豪雨を契機とした会議であり、河川管理者だけではなく市町村、住民、企業等が水害のリスクを共有してそれぞれが主体的に行動し、大洪水というのは必ず発生するという認識を前提として社会全体で常に備える水防災意識社会を再構築していくことを目的としています。
- 【宮崎地方気象台長】気象防災ワークショップを開催しました。13市町村の参加がありまして、延べ80人程度の参加でございました。この防災気象ワークショップですけれども、防災情報を理解して有効に活用していただくということで、こういった取り組みをしておりますので、今年度につきましても宜しくお願いいたします。
- 【宮崎県】不動産関係団体の研修の場における水害リスク情報の解説を行っております。昨年度までに想定最大規模の浸水想定区域図を公表させていただいたところですが、宅地、建物の売買の際に相手方へ水害リスク情報を周知して頂くように協力をお願いしました。また、協力を依頼するにあたり、様々な水害リスクの内容や情報の見方等について不動産関係団体が実施しております研修会の場を活用し、河川課職員が説明をさせて頂いております。
- 【西米良村長】西米良村では、16年くらい前から防災訓練、避難訓練を実施しており、昨年度は小川地区というところで約50人の参加でございました。大雨を想定した避難訓練、防災ボランティアによる災害防止の講義、非常食の試食体験を実施しました。また、災害危険地層調査や防災無線の整備を実施しました。
- 【高鍋町長】高鍋町では、浸水予想区域について津波を想定した防災訓練を実施しております。対象地区約70名が参加し、H29年度に完成した津波避難タワーを活用しました。訓練後には、地元の防災士による講話や地元を管轄する消防団の部長による災害時の消防活動について話をしております。
- 【新富町長】新富町ではハザードマップと防災マップの更新を行っております。防災マップは冊子版と電子版があり、電子版においては、GPS機能を使って自分の居場所から一番近い避難所が表示できる機能を有しているほか、自分でマイハザードマップを作る機能も有しています。
- 【木城町長】木城町では、9月1日に防災講演会を開催させて頂きました。本町の防災に係わる各種団体をはじめとして、自治公民会や各福祉施設長など、300人収容の会場がいっぱいになるほど参加頂いております。今回は視点を変えて、アウトドア技術を使った防災の講演を頂いたり、高校生が開発した防災アプリの紹介を実施しました。
- 【西都市長】コロナ禍での避難所運営方針として、ソーシャルディスタンスを保てる施設を一次避難所として開設し、一般避難者、発熱避難者、感染疑い者と区分けを行う対応していく予定。
- 【杉尾アドバイザー】コロナ禍の時代の避難として分散避難ということになると自治体側が把握する領域が物凄く広がってしまうということになるので、今回「自分の身は自分で守る」というキーワードが何回も出てきましたが、そういった所を是非、防災の出前講座あたりでお知らせ頂いて、乗り越えていってください。

協議会 委員名簿

- 規約別表のとおり。

